

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 (財)日本国際協力センター

1 事業の趣旨・目的

(1)「話そう！日本語」(関西支所)

平成20年秋以降の経済危機をきっかけとし、多くの日系人は、日本での暮らし方や働き方、地域社会との関わり方の変容を求められるようになってきている。これら日系人が、地域の構成員として長く地域で暮らしていくためには、最低限のコミュニケーションを可能とする日本語の学習、日本語の運用の仕方やマナー理解の習得の必要性が高い。さらに、日系人コミュニティが日本の地域社会で孤立することなく受け入れられる土壌作りも必要となっている。

そこで、本業務においては、基礎的なコミュニケーションスキルを習得させ、日系人の日本社会への参画を促進すること、日本語力向上の部分で、日系人自らが主体的かつ持続的に従事していけるような参加型の取組のあり方を検討することを目的として実施する。

(2)「市内在住外国人のための「就労準備に向けた日本語」(九州支所)

経済のグローバル化が進展する中で、日本国内の定住外国人が増加し、これらの人々が、地域社会の中で孤立することなく生活していくために必要な日本語能力を習得できるよう、多文化共生社会の基盤づくりに資することを目的とした文化庁の趣旨に基づき、北九州市で、初歩的な日本語を習得し、日本での就職を視野に入れた在住外国人に対し、求職活動で必要とされるコミュニケーション能力、日本語力の養成、向上を図ることを目的とし、実施した。

なお、本事業での到達目標は次の通り。

- ・ 求人票が理解できる。
- ・ ハローワークや会社に問い合わせができる。
- ・ 履歴書が書ける。
- ・ 面接において適切に自己紹介、質疑応答ができる。

2 運営委員会の開催について

(1)「話そう！日本語」(関西支所)

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
7月23日 (土) 10～11時	近江八幡市 人権センター	高木 和彦 南 かおり 前田 オルガ コスタ ルイス リペイロ 大野 農 一階 礼子 坂下 綾子	運営体制の確認 日本語教室概要の確認 今後の日程	<ul style="list-style-type: none"> 本事業の運営体制の確認 教室設置目的・日本語教室の到達目標の確認 本教室日程の確認
11月12日 (月) 10～11時	近江八幡市 役所	高木 和彦 南 かおり 前田 オルガ 一階 礼子 坂下 綾子	事業実施報告 今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 実施報告を行い参加者のコメント等を共有した 今後の課題について共有した

(注) 写真データが破壊されたため提出できません。

(2)「市内在住外国人のための「就労準備に向けた日本語」」(九州支所)

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
7月28日 (木) 10～11時	国際村交流 センター2階 会議室	小石 佐織 永田 教子 平川 申明 青泉 広湖 林田 眞美子	<ul style="list-style-type: none"> 北九州市における外国人施策及び課題、日本語教育の現状について 本事業実施方法について等 	<ul style="list-style-type: none"> 特に、受講生募集方法や日本語教育内容等について運営委員会で意見交換、確認を行なった。
12月15日 (木) 14～15時	国際村交流 センター2階 会議室	下前 綾子 永田 教子 平川 申明 青泉 広湖 林田 眞美子	<ul style="list-style-type: none"> 本事業実施報告 今後の課題について等 	<ul style="list-style-type: none"> 本研修を終了し、受講者、研修内容、研修の効果及び成果についてJICEから報告するとともに、受講者の評価結果、受講者アンケート集計結果を共有した。

				・また、今後の課題について議論した。
--	--	--	--	--------------------



3 日本語教室の開催について

(1)「話そう！日本語」(関西支所)

- ① 講座名
話そう！日本語教室
- ② 開催場所
近江八幡市人権センター
- ③ 学習目標
教育や就労の場面で遭遇するであろう場面を想定し、その場面ごとに地域の日本人に繋がる・溶け込むきっかけとなる挨拶やコミュニケーションの表現と良好な関係構築のための表現の仕方(話し方や振る舞い、姿勢)の習得を目指す。
- ④ 使用した教材・リソース
学習者のニーズをベースとした教材を新たに作成した。学習者の事前アンケートにおいて学校からの通知文、欠席連絡や病院予約などに対処できるようになりたいとの要望があったため、そのような会話場面を設定した教材「ななそう!!にほんご」を作成した。
- ⑤ 受講者の募集方法
掲示用チラシを作成して、おうみぶらじるアミーゴの会のメンバーに配付や自宅や会場周辺での掲示を依頼した(チラシ添付)。
- ⑥ 受講者の総数 18 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
(出身・国籍別内訳 ブラジル 16名、ペルー1名、ベトナム1名)
- ⑦ 開催時間数(回数) 60 時間 (全 30 回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開講日時	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
1	7月23日 10:00-12:00	2時間	14	ブラジル 12名 ペルー 1名 ベトナム 1名	教授者1名 補助者1名	自己紹介・挨拶
2	7月26日 19:00-21:00	2時間	16	ブラジル 15名 ペルー 1名	教授者1名 補助者1名	指示詞 知らないものについて尋ねられる
3	7月30日 10:00-12:00	2時間	14	ブラジル 14名	教授者1名 補助者1名	場所を尋ねる お願いします
4	8月2日 19:00-21:00	2時間	13	ブラジル 11名 ペルー 1名 ベトナム 1名	教授者1名 補助者1名	時刻 買い物
5	8月6日 10:00-12:00	2時間	12	ブラジル 12名	教授者1名 補助者1名	行きます・来ます・帰りますを使い、自分の行動について話す
6	8月9日 19:00-21:00	2時間	13	ブラジル 13名	教授者1名 補助者1名	行きます・来ます・帰りますを使い、過去の自分の行動について話す
7	8月20日 10:00-12:00	2時間	7	ブラジル 7名	教授者1名 補助者1名	来日や帰国について話す
8	8月23日 19:00-21:00	2時間	12	ブラジル 12名	教授者1名 補助者1名	日常の行動が言える
9	8月27日 10:00-12:00	2時間	11	ブラジル 11名	教授者1名 補助者1名	自分の1日の行動について話す
10	8月30日 19:00-21:00	2時間	13	ブラジル 13名	教授者1名 補助者1名	存在分を使って、家族のことなどを話す

11	9月6日 19:00-21:00	2時間	11	ブラジル 10名 ペルー 1名	教授者1名 補助者1名	所在分を使って場所や道を聞くことができる。小学校の行事について帰国ことができる。
12	9月10日 10:00-12:00	2時間	7	ブラジル 6名 ペルー 1名	教授者1名 補助者1名	印象や感想を言う
13	9月13日 19:00~21:00	2時間	10	ブラジル 10名	教授者1名 補助者1名	過去の印象や感想を言う
14	9月17日 10:00-12:00	2時間	6	ブラジル 5名 ペルー 1名	教授者1名 補助者1名	好みを言う 希望を言う
15	9月20日 19:00~21:00	2時間	9	ブラジル 8名 ペルー 1名	教授者1名 補助者1名	て形を使った依頼表現の理解
16	9月24日 10:00-12:00	2時間	9	ブラジル 9名	教授者1名 補助者1名	~てくださいの運用
17	9月27日 19:00~21:00	2時間	13	ブラジル 12名 ペルー 1名	教授者1名 補助者1名	~、~て学校からのお知らせに書かれている内容が口頭で質問できるようになる
18	10月1日 10:00-12:00	2時間	6	ブラジル 6名	教授者1名 補助者1名	~ています(進行) 「誘い」の表現とその受け方、断り方
19	10月4日 19:00~21:00	2時間	10	ブラジル 9名 ペルー 1名	教授者1名 補助者1名	~ています(結果存続) 家族構成(家族について紹介できる)

20	10月8日 10:00-12:00	2時間	8	ブラジル 7名 ペルー 1名	教授者1名 補助者1名	病気表現 許可を得る
21	10月11日 19:00~21:00	2時間	9	ブラジル 8名 ペルー 1名	教授者1名 補助者1名	許可を得る 許可分の答え方 学校への欠席連絡 診察予約の仕方
22	10月15日 10:00-12:00	2時間	7	ブラジル 6名 ペルー 1名	教授者1名 補助者1名	~てから、前を 使って順番に物 事を話すことが できる
23	10月18日 19:00~21:00	2時間	10	ブラジル 9名 ペルー 1名	教授者1名 補助者1名	可能表現 ① 可能表現 ② 状況可能
24	10月22日 10:00-12:00	2時間	9	ブラジル 9名	教授者1名 補助者1名	トラブルにかな する表現を学ぶ 問題が起きた時 に対処できる
25	10月25日 19:00~21:00	2時間	9	ブラジル 8名 ペルー 1名	教授者1名 補助者1名	ない形 ない形を使って 規則、禁止の表現 を習得する
26	10月29日 10:00-12:00	2時間	7	ブラジル 7名	教授者1名 補助者1名	経験の有無につ いて話すことが できる
27	11月1日 19:00~21:00	2時間	7	ブラジル 6名 ペルー 1名	教授者1名 補助者1名	仮定表現 ある条件のもの とでの行動、動作
28	11月5日 10:00-12:00	2時間	6	ブラジル 5名 ペルー 1名	教授者1名 補助者1名	「~たら」を使っ て確定条件が言 える
29	11月8日 19:00~21:00	2時間	10	ブラジル 9名 ペルー 1名	教授者1名 補助者1名	修了テスト 口語体(普通体)

30	11月12日 10:00-12:00	2時間	11	ブラジル 10名 ペルー 1名	教授者1名 補助者1名	テストフィードバック 口語体がわかる
----	-----------------------	-----	----	--------------------	----------------	-----------------------

⑨ 特徴的な授業風景(2~3回分)



【7月30日の授業記録】

- 自己紹介
- 挨拶復習 教科書 P.2 +失礼します／では、また。(じゃ、また)
教室のことば 教科書 P.4,5 読み合わせ
こ・そ・あの確認、こそあを使った Yes, No クエスチョン
- …は どこですか。 ⇄身近なもの、世界地図、日本地図などで
ここ／そこ／あそこです。
名詞：学校、小学校、中学校、高校、銀行、郵便局、駅、市役所、階段、うち、スーパー、デパート、トイレ、教室、部屋、レストラン、食堂 など
- ひらがな
50音表図で発音練習
書き取り・・・1) かきくけこさしすせそ 2) かぎ 3) かさ 4) すし
た、だ、な行
- 教科書 3課
P.11 あたらしいことば を読む T→S
P.10 会話 1)
- おねがいします

P.10 2) の場面のみ

- レストラン では、メニュー、水、これとこれ、スプーン、フォーク、ナイフなどで練習。

おはしは、みな使えるので、子どものために、『スプーン、お願いします』など

- 電話 まず、教科書を読み、何人かに自分に当てはめ練習

さゆりの母です の場合は、日本人の子どもの名前は、何人もいるので、フルネームで言うように指導。

- 市役所

会話通り

【10月22日の授業記録】

○ディクテーション 1 あさごはんをたべるまえに シャワーをあびます。

2 カフェにいったから ともちとかいものをします。

3 ひらがなのよみかきができます。

○動詞て形、および辞書形の復習

ユタさん、アントレッサさん以外はだいたい定着してきた感じである。

○できます の復習

日本語/スペイン語/英語/車の運転 が できますか。

—はい、できます。/いいえ、できません。

※ 漢字を書く/(日本の)料理を作る/パソコンを使う ことができますか。

※ 近江八幡市で、映画を見る/ボーリングをする ことができますか。 等

○21課 語彙&会話 リピート

☆22課の目標 提示

○何と読みますか

この漢字(氏名)は 何と読みますか。— しめい です。

(~は) どういう意味ですか。 — なまえ です。

*ペアワークで「休憩」「危険」「故障」「禁煙」「注意」「休日出勤」等、練習

+ この~、その~、あの~ も簡単に説明し、使用。

○どうやって~ますか

(これは) どうやって使いますか。(ガチャック、かんきつ類の皮むき等)

どうやって見ますか/聞きますか。(DVD、ビデオ、CD、i-phone での音楽 等)

どうやって持ちますか。(はし 等)

どうやって遊びますか。(おもちゃ 等)

答え方は「こうやって~ます。」で紹介。その他、ここにこれを入れて・・・なども少し使用。

○どうしたらいいですか。

財布/カメラ/鞆 をなくしました。 どうしたらいいですか。

—交番に行ってください。 等
 本（教科書）を忘れました。どうしたらいいですか。
 —友達と一緒にみてください。 等

(2)「市内在住外国人のための「就労準備に向けた日本語」(九州支所)

- ① 講座名： 市内在住外国人のための「就労準備に向けた日本語」
- ② 開催場所： 福岡県北九州市小倉北区浅野 3-8-1 AIMビル6F
 財団法人北九州産業学術推進機構 北九州テレワークセンター会議室
- ③ 学習目標： 求人票が理解できる、ハローワークや会社に問い合わせができる、履歴書が書ける、面接において適切に自己紹介、質疑応答ができる。
- ④ 使用した教材・リソース:「はたらく人の日本語 I」「日本で働くにあたって」(JICE)
- ⑤ 受講者の募集方法
 - ・チラシの作成・配布
 - ・財)北九州国際交流協会ホームページ、JICE ホームページ、ふくおか生涯学習ひろば(福岡県新社会推進部)ホームページに教室情報を掲載
- ⑥ 受講者の総数 15 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
 (出身・国籍別内訳：
 中国 11 人、台湾 1 人、インドネシア 1 人、ペルー 1 人、アルジェリア 1 人)
- ⑦ 開催時間数(回数) 60 時間 (全 24 回)
- ⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
1	9月20日 17:00-19:00	2時間	12名	台湾・台湾語 1人 中国・中国語 8人 ペルー・スペイン語 1人 アルジェリア・フランス/アラビア語 1人 インドネシア・インドネシア語 1人	教授者 1人	プレースメントテスト、自己紹介・発音チェック (宿題) モデル自己紹介作成
2	9月24日 14:00-17:00	3時間	11名	台湾・台湾語 1人 中国・中国語 8人 アルジェリア・フランス/アラビア語 1人 インドネシア・インドネシア語 1人	教授者 1人	初対面の会話 質問に答える 適切に聞き返す
3	9月27日 17:00-19:00	2時間	11名	台湾・台湾語 1人 中国・中国語 8人 ペルー・スペイン語 1人	教授者 1人	簡単な自己紹介(暗記) 勧めを受ける/断る

				インドネシア・インドネシア語 1人		(歓迎会で)
4	10月1日 14:00-17:00	3時間	12名	中国・中国語 11人 インドネシア・インドネシア語 1人	教授者 1人	物の名称を尋ねる 嗜好について話す (形容詞)
5	10月4日 17:00-19:00	2時間	10名	台湾・台湾語 1人 中国・中国語 7人 ペルー・スペイン語 1人 インドネシア・インドネシア語 1人	教授者 1人	趣味について話す (動詞) 復習
6	10月8日 14:00-17:00	3時間	13名	中国・中国語 11人 ペルー・スペイン語 1人 インドネシア・インドネシア語 1人	教授者 1人	時間を尋ねる 簡単な指示がわかる
7	10月11日 17:00-19:00	2時間	11名	台湾・台湾語 1人 中国・中国語 9人 インドネシア・インドネシア語 1人	教授者 1人	やや複雑な指示がわ かる 指示内容を確認する
8	10月15日 14:00-17:00	3時間	6名	中国・中国語 5人 インドネシア・インドネシア語 1人	教授者 1人	注意がわかる 注意事項がわかる
9	10月18日 17:00-19:00	2時間	10名	台湾・台湾語 1人 中国・中国語 8人 インドネシア・インドネシア語 1人	教授者 1人	指示がわかる(常体 表現に丁寧体で応じ る) 復習(宿題でス ピーチ作成)
10	10月22日 14:00-17:00	3時間	6名	台湾・台湾語 1人 中国・中国語 5人	教授者 1人	就労講義、スピーチ (自己紹介を含む)
11	10月25日 17:00-19:00	2時間	8名	台湾・台湾語 1人 中国・中国語 6人 インドネシア・インドネシア語 1人	教授者 1人	相手に応じた確認方 法ができる 挨拶のマナー 好感のもたれる表現 の適切な使い方
12	10月29日 14:00-17:00	3時間	11名	台湾・台湾語 1人 中国・中国語 9人 インドネシア・インドネシア語 1人	教授者 1人	報告 メールの書き方
13	11月1日 17:00-19:00	2時間	10名	台湾・台湾語 1人 中国・中国語 8人 インドネシア・インドネシア語 1人	教授者 1人	依頼、相談 電話での会話
14	11月5日 14:00-17:00	3時間	6名	中国・中国語 6人	教授者 1人	お詫び(遅刻、急な 変更など)
15	11月8日	2時間	8名	中国・中国語 7人	教授者	お礼の言い方

	17:00-19:00			インドネシア・インドネシア語 1人	1人	
16	11月12日 14:00-17:00	3時間	7名	台湾・台湾語 1人 中国・中国語 5人 インドネシア・インドネシア語 1人	教授者 1人	ハローワークで漢字などの読み方などを尋ねる 求人票の内容を確認する
17	11月15日 17:00-19:00	2時間	9名	台湾・台湾語 1人 中国・中国語 7人 インドネシア・インドネシア語 1人	教授者 1人	経験について話す 履歴書を書く(志望動機、希望条件)
18	11月19日 14:00-17:00	3時間	5名	中国・中国語 4人 インドネシア・インドネシア語 1人	教授者 1人	応募について説明を聞く、質問する
19	11月22日 17:00-19:00	2時間	8名	台湾・台湾語 1人 中国・中国語 7人	教授者 1人	滞日年数、就労経験、日本語能力などについて話す 電話での会話
20	11月26日 14:00-17:00	3時間	6名	中国・中国語 5人 インドネシア・インドネシア語 1人	教授者 1人	履歴書の作成、添削
21	11月29日 17:00-19:00	2時間	7名	台湾・台湾語 1人 中国・中国語 6人	教授者 1人	適切な表現、マナーで面接を受ける スピーチ作成
22	12月3日 14:00-17:00	3時間	3名	中国・中国語 3人	教授者 1人	個人面接実践練習 履歴書作成
23	12月6日 17:00-19:00	2時間	9名	台湾・台湾語 1人 中国・中国語 8人	教授者 1人	個人面接実践練習 アンケート実施
24	12月10日 14:00-17:00	3時間	11名	台湾・台湾語 1人 中国・中国語 9人 インドネシア・インドネシア語 1人	教授者 1人	面接実践 プレゼンテーション 修了証書授与

⑨ 授業報告及び特徴的な授業風景(2~3回分)

A:日本語文法

- ・ て形作り方確認 ます形→て形 「～ていただけませんか」
- ・ 尊敬語・謙譲語、受身形の復習、～る、～てもらう/いただく
「休んでいただけませんか」
- ・ 使役形確認 「Vさせてください」「Vてください」
- ・ 授受表現 「Vてくださる・Vていただく」

- ・ お礼の表現 「Vてくださって・Vていただいて、ありがとうございました」
- ・ 経験について話す 「(動)たことがあります」「(名)の経験があります」



B:就労支援

- ・ 求人票の見方
 - 実際の求人票(ハローワーク小倉で入手)3枚を教材とし、語彙と内容の理解
 - 「すみません。この漢字の読み方を教えていただけませんか」等(依頼のいろいろな言い方を復習しながら練習)
- ・ ハローワークでの求人票閲覧・検索方法説明
- ・ 履歴書の書き方
 - 志望動機は、学生生活経験、社会人経験、人やものごととの出会い等自分自身の経験を踏まえて具体的に書く
 - 今までの「長所について」や「どんな仕事をしたいか」等のスピーチを利用しながら書く
 - 希望条件欄は、勤務場所、職種は問わない、とやる気を示す
- ・ 正社員、契約社員、派遣社員、パート社員の違いについて
- ・ お願いメールの書き方
 - 先生に推薦状を依頼する、先生に質問する、就職のための資料請求
- ・ 「応募について質問する」 丁寧な訊き方練習
- ・ 依頼の前置き表現確認 「お忙しいところ・お休みのところ、すみません」等
- ・ 「休暇をとる・早退する・遅刻する・企画書を見てほしい…」等、課長にお願いするという場面で、ペア練習
- ・ 遅刻、急な変更など、お詫び場面を設定し、ペアワークで会話練習
- ・ 電話をかける
 - 相手呼び出す・伝言を頼む・伝言を頼まないときの対応
- ・ 電話を受ける
 - 不在を伝える・伝言を受ける・相手に電話番号を聞く・電話を受けた者の名前を伝える



C:面接対応

- ・ スピーチ:テーマ「どんな仕事がしたいか、あるいはどんな会社で働きたいか、具体的に入社したい会社があればどうしてそこに入りたいか」
- ・ 1分スピーチ(一人3分)
面接形式で一人ずつ、入室、着席、自己紹介、長所、短所、Q&A、退室まで練習
- ・ 滞日年数、就労経験、日本語能力等について話す
- ・ 面接での着席時の注意点、練習、リハーサル
- ・ 面接実践、プレゼンテーション





4 事業に対する評価について

(1)「話そう！日本語」(関西支所)

① 当初の学習目標の達成状況

【到達目標】

- ・ひらがな、カタカナの読み書き習得
- ・初級前期で扱う基本文型の習得
- ・学校からの通知文、お知らせに対処できるようになる。
- ・学校への欠席連絡

【達成状況】

ひらがな、カタカナは1名を除いて習得した。

当初は30課で会話を構成し、初級で扱われる「て形、辞書形、ない形、た形」を扱った基本文型までの習得を目標としたが、学習者の習得状況を見て、学習進度を調整し27課の構成となった。柔軟に進度調整ができ、無理がない形で進められ、学習者も負担に思

うことなく 60 時間という時間設定としては纏まった内容であったと思われる。

② 学習者の習得状況

仕事との兼ね合いで辞退する者が数名いたが、学習者の出席状況は良かった。

学習者の日本語能力には個人差がかなりあった。日常会話は殆ど不自由なくできる者、一方、殆ど話せない者など開きがあった。前者は、日常会話はできるが、これまで日本語を学習した経験がなく生活を通して身に付けていたため、当クラスに参加することで間違っ
て習得していた事柄を修正し、丸覚えしていた事柄の文法整理をする機会となった。また、後者にとっては仮名の読み書きができ、基本的な日常会話が理解、運用できるようになり自信が持てるようになったと思われる。

進度をゆっくりと設定し、1 回あたりの学習量を絞ることで、学習者は日頃疑問に思うことを質問したり、確認したりできる余裕が生じ、積極的な姿勢を引き出すことができ、終始意欲的に取り組んでいた。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

成果としては学習者のニーズに沿った学習項目で日本語学習の場が提供できたことである。学習者自身も滞在期間に比して日本語が話せないことに恥ずかしさを感じていたり、日本語習得の必要性を感じていたりしてニーズは高いところ、日本語教室が身近に実施されていることの意義は大きい。また、今回は、潜在的学習者には母親層が多いとの情報を得て、保育担当を配置し、子育て中の母親も参加できるような環境づくりをしたところ、子育てで勉強したくてもできない環境にいる母親層にとって貴重な機会を提供することができた。今後も学習する機会を設けることで日本社会から孤立することのなく地域社会と共生に近づける一助になると思われる。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

カリキュラム作成にあたっては運営委員会委員や関係者との打合せを複数回持ち、カリキュラムの方向性や潜在的参加者のニーズを確認しながら進めた。また、おうみぶらじるアミーゴの会からも、潜在的参加者に対するアンケート調査の協力を得ることができた。この結果、参加者のニーズに対するオーダーメイドの授業運営ができた。

⑤ 改善点、今後の課題について

a.現状

- ・学習者のレベル差が大きい。
- ・週 2 回、火曜日の夜間、土曜日の午前に設定したが、土曜日は仕事で欠席する学習が多かった。

b.今後の課題

・学習者それぞれのレベルに合わせて設定することは難しいが、今回は日常会話がある程度できる者や日本語が殆どできない者等が混在していた。大きく 2 クラス設定できるとより効率的な授業が提供できると思われる。

・クラスの設定曜日を再度検討する必要がある。

・学習者からは引き続き勉強したいと要望が出た。今回学習したことをより確実なものにしていくためにも長期的に継続学習できる場が必要である。

c. 今後の活動予定, 展望

おうみぶらじるアミーゴの会が中心となって、自主学習グループを形成して継続学習のサポートを行なう予定である。この自主的な動きの継続・発展をサポートする何らかの仕掛けが必要である。

⑥ その他参考資料

公募チラシ

(2)「市内在住外国人のための「就労準備に向けた日本語」(九州支所)

① 当初の学習目標の達成状況

就職活動で必要とされるコミュニケーション能力及び日本語力の養成において、概ね達成できたと思われる。敬語の使い方や、職場での依頼、相談、報告の仕方等、最低限必要とされる会話を学んで日本語運用力を高めることができた。

また、面接のマナーや効果的なスピーチを学び、講座の中盤から会社説明会に参加するなど積極的に就職活動を始めた受講者が 4 名いた。中には、企業の面接を受けることになった受講生もいた。

受講生からは、就労準備に必要な履歴書の書き方や面接のマナー、効果的な自己アピールを学び、積極的に日本語が話せる自信がついたとの声も多かった。

② 学習者の習得状況

受講者は日本での就職を意識して、高い学習意欲をもって当講座に参加した。日本で就職し、定住したいという同じ目標を持った同世代の受講生が集まったことも、目標達成のモチベーション向上につながり、面接のマナーや日本の職場での依頼や確認の仕方などを学ぶことで、日本で働く心構えが高まったように思われた。

また、話し方の癖を矯正したり、落ち着いて応対できるよう指導を受けることで、日本語の運用能力を高めることができ、受講生全員が自信を持って、志望動機や自己アピールを自分の言葉でスピーチできるレベルに達した。研修最終日の面接実践では、その学習効果が十分に発揮されていた。

③ 日本語教室設置運営の効果, 成果

日本での就職を希望する20代半ばの市内在住外国人に対し、就職準備に必要な求人票の読み方、履歴書の書き方から面接のマナー、就職後に最低限必要な日本語会話(依頼、相談、報告の仕方等)を中心とした日本語運用力を高める内容を取り入れた。

受講者の日本語力にはバラツキがあったが、ほとんどが高い学習能力を有しており、日本人の考え方を理解したいという積極的な姿勢で課題に取り組んでいた。その結果、ヒアリングや発話能力の向上や、会社説明会に積極的に参加するなど研修の成果が多く見られた。

アンケート集計結果概要は次の通り。(最多回答数と内容)

(設問①)研修期間:「よい」(11人中8人)

(設問②)日本語学習:「よい」(11人中6人)

(設問③)就労実践講習:「よい」(11人中7人)

(設問④)面接演習:「大変よい」(11人中6人)

(設問⑤)教材:「よい」「普通」(11人中各5人)

(設問⑥)講師:「大変よい」(11人中7人)

(設問⑦)研修場所:「よい」(11人中7人)

受講者アンケートからの主な特徴的なコメントは次の通り。

- ・ 面接のマナーや職場の方への敬語の使い方などを身につけた。
- ・ 日本でのマナーは重要だとわかったこと。
- ・ 履歴書が上手に書けるようになった。
- ・ 日本語を勉強したと同時に、日本の文化や会社での礼儀が理解できたこと。
- ・ 就職活動の日本語を多方面から訓練を受けたことは、日本で仕事を探すにあたって非常に役に立つと思う。
- ・ 当該講座のレベルアップバージョンがあれば、引き続き参加したい。等

④ 地域の関係者との連携による効果, 成果等

- ・ 北九州市及び関係機関、北九州市内にある帰国・外国人児童生徒教育センター校(小中学校)、北九州市内大学、北九州市内外国人コミュニティの協力を得て、募集チラシの配布、ホームページへの掲載など広報活動を通して、15名(うち、2名は途中辞退)の受講者が集まった。
- ・ 北九州市及び財団法人北九州国際交流協会の方が、本事業を視察し、研修の成果を確認して頂いた。

⑤ 改善点, 今後の課題について

a.現状

受講者は市内大学の留学生が大半で、大学でのゼミとアルバイトを両立させながら、当研修に参加している受講生が多かった。受講者が居住する地域から研修場所はやや遠いため、時折、開始時間に遅刻したり、通学時間と交通費が受講生にとって負担となっている様子もうかがえた。なお、受講者は、決められたとおり、遅刻・欠席の場合には、JICE 事務局へ連絡があった。

b.今後の課題

同様の日本語研修を実施する場合、対象者の居住する地域を限定し、通学しやすい研修場所と日時を設定することとしたい。

c.今後の活動予定, 展望

北九州市は、留学生の活用を通じた地域企業の国際ビジネス展開や優秀な人材確保を促進し、その意見交換、情報共有のための「グローバル人材・北九州ネットワーク」を設立している。このような取組の中、優秀な人材を確保し、地域の身近な海外高度人材として、留学生が脚光を浴びている。今回の本事業においては、同ネットワークとの連携は特になかったものの、今後、北九州市内で、本事業の経験を活かした日本語研修(特に就労準備研修)の運営を検討する。

⑥ その他参考資料

- ・ アンケート集計結果
- ・ 募集チラシ

(以上)